



草加松原ロータリークラブ

2025-26 年度 UNITE FOR GOOD (よいことのために手をとりあおう)



第632回 例会 8月5日 シュガー・ヒル

＊＊本日のプログラム＊＊

開会点鐘	会長挨拶
君が代斉唱	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
ロータリーの目的	SAA報告
四つのテスト	出席報告
お客様紹介	閉会点鐘

誕生祝・結婚祝

7月29日の例会記録

◆ お客様 齋藤幸子様

◆ 会長あいさつ 木村博行会長

皆さんこんばんは、渡辺さん油断していたでしょう！これからいきなり指名すると言う事で、誰が指されるかわかりませんのでね！だからと言って、来なくなることはないように！

皆さん、今は地元のお祭りシーズンだと思うのです。八幡町という所に事務所を構えておりますが八幡町会のこの間の金曜日、土曜日で、2日間盆踊り大会をやっておりましたが、25日は職業奉仕セミナーで、川口のフレンジア、今日の会報に私と大塚職業奉仕委員長と2人で写真載っていますけど、疲れてしまい、少し早めに帰らせていただきました。

26日は草加高校出身なのですが、60周年の同窓会の打ち合わせがあったのです。田川浩司さんという方が会長をやっているらしいんですけど、そこにも顔を出して、その後、盆踊り2日目、なんて言うのでしょうか、ロータリーの奉仕、ボランティアとはちょっと違うと森さんは言っていましたけど、私は段々何がなんだかわからなくなりました。安田さんがやっている盆踊り大会にも日曜日に顔を出してきたけど、もの凄いですね！あんなに大きくやっているとは思わなかったものですからびっくりしました。安田さんはビールを売っていました。奉仕の理念、ボランティア精神って言う

のでしょうか、関根さんも真っ赤な顔をしながらビール飲んでいましたけど、そういうところで、各種ロータリアンの方々は、やはりそれなりの地位を築いて活動なさっているのだなっていうのをなんとなく感じましたし、今期の委員長さんは研修の出席率が良いな～と思って、非常に心強いな～と思いました。

今日は、ボランティアではないでしょうけど、公共的な精神を持った女性の方は誰かいらないかな～と加藤プログラム委員長に話をしたら、齋藤幸子さんしかいない！ではお願いしようと連絡したら二つ返事で引き受けて下さいました。私はお会いするのは久しぶりですけど、卓話を今日は楽しみにしてまいりました。

とにかく暑いので田中さん、松田さん来ていただけるのは非常に心強いですが、暑いので熱中症気を付けて参加していただければと思います。会長挨拶は以上です。ありがとうございました。



幹事報告

安田洋介幹事

皆さんこんばんは、幹事報告は特にございません次週の例会のご案内です。会場が取れないため、長谷部さんのシュガー・ヒルで行うのですが、通常の例会と言う事でお食事の用意はございますが、お酒の席ではないということです。宜しくお願い致します。

国際ロータリー第2770地区第9グループ



草加松原ロータリークラブ

会 長：木村 博行

幹 事：安田 洋介

例会日：毎週火曜日 19:00～20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC: sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp

卓話 母子の健康

齋藤幸子様

こんばんは、今日はお招きをいただきましてありがとうございます。また、ガバナー補佐の時には大変お世話になりました、ありがとうございます。久しぶりの卓話なのでドキドキしています。大先輩の皆さんの中で、もう本当に釈迦に説法かなと思う部分もあるかと思いますが、私の知っている限りで、今日のテーマの話をさせていただきたいです。レジュメをまず皆さんにお渡ししておりますが、その順に沿ってお話をさせていただきます。資料としてコピーをしたものの、「子供の貧困教師の卵学ぶ」の中に、児童生徒の暴力 10 年で最多と書いてあります。ここでは 2020 年のデータですが、この年ですでに多くなっている。2 番目は少し黒っぽい写真出ていますが、この方はヤングケアラーをしている方のお話です。それから、フードバンクについて、最後のカラーは最後にお話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

「母子健康」ということでお話するようにご依頼をいただきまして、色々私も学んで参りました。まず、ロータリークラブは 120 年になろうとしているわけですが、この「母子の健康」の活動に取り組んだのは 30 年ほど前ということでございます。初めに 1994 年にアメリカでガバナーの国際会議が開かれた時に、ナイジェリアのルファデジュさんとジンサーさんが出会って、その時にナイジェリアのルファデジュさんが自国の新生児の死亡率が大変高いということを嘆き訴えたわけです。その時にドイツのジンサーさんが、それでは死亡率の減少に取り組ましよう、私も協力しますよっていうお話になりました。早速、翌年の 1994 年にナイジェリアの北部のカドウナ州に母子医療プロジェクトを立ち上げて、出産前と出産後のケア、医療や健康面、衛生面の対策を実践いたしました。これがやがてナイジェリア中に広がって、何百万の家族の暮らしを変えたというお話でございます。

ルファデジュさんがガバナーとしてプロジェクトを立ち上げて、もう自分の役割はこれで終わりかなと思ったのですが、人生の大半を携わるようになった一大プロジェクトになるとは思わなかったとおっしゃっております。

ロータリー財団はナイジェリアの他属ために 200 万ドルの提供しておりますが、5 歳未満で命を落とす子どもたちが世界に推定 590 万人と言われております。

時々テレビで痩せ細って骨だらけのお子さんが、今にも絶えるような顔で映っているときがあります。戦禍の中と言う事もあるとは思いますが、まだまだあいう子ども達が 590 万人もいるということは、日本ではちょっと考えられないことですが、現実には起きていることです。その原因は、栄養失調であったり、適切な医療や衛生設備、それから予防可能なことばかりということになりますけれども、全ての母親が質の高い医療を受けられるように、それから出産で命を落とすようなことのないように、子どももすくすく成長するように、そういうことでロータリーは支援活動を行っています。また、その他に予防接種ですとか出産に必要なキットなどを配ったり移動クリニック、医療機器を搭載したジープを提供したりしています。

また、親子のエイズの感染予防、今のお母さんたちは市販のミルクで育てていると思うのですが、私たちの頃は母乳で育てなさいという風にすごく言われまして、出なくなっちゃったりして困ったこともありますけども、そこを補完するのがミルクだったのですが、母乳で育てましょうという普及活動もしています。それから、教育の要望に関するいろんな知識ですね！教育も行っているということです。

ナイジェリアとドイツの活動を行ったりきたりしますけれども、ドイツは各地区とナイジェリアのロータリアンと共同してグループを組んでこうした運動をしています。

ナイジェリアのロータリアンとローターアクターは、プロジェクトによって活動の調整とか研修の監督、業務や支援の活動をしています。それから政府への働きも行っており、ロータリー活動に留まらず政府への働きもしているということです。また、ドイツの会員は、経営とかモニタリング、評価を援助するための技術面とか運営面の専門知識を提供しています。最初のプロジェクト以来、資金援助で続けているドイツの連邦経済総会で連邦経済教員挨拶というお役人のところの資金を申請して、その資金が 136 万ドル提供されたということもあります。

ドイツのリサさん、最初に協力しますよっていう、おっしゃってくださった方は、毎年資金を援助しているということをしていらっしゃいます。こうしたロータリーの補助金のおかげで、このプロジェクトが拡大を続けているということでございます。

そしてまた、ナイジェリアとドイツの会員の皆さんが、より規模の大きい財団補助金を申請して 100 近くの自治体を含む 6 つの州で活動を拡大して、ロータリー国際とも言いましたが、ロータリー活動だけではなくて、政府を巻き込んでこの活動をしているということです。ナイジェリアでは自宅出産が 70% だったのですが、診療所での出産が増えたために政府が診療所を増やしたということになります。

それから、ロータリー会員がどのような援助が合理的かということも考え、母親の死亡数の原因、妊産婦の死亡データを提供するというのもしています。このプロジェクトとは、妊産婦死亡率 50% 減少したというような結果が報告されています。ナイジェリアの連邦政府では、出産費、出産前、出産の死亡と死亡の調査、対応への取り組みを開始して、この調査の結果が大きなデータとなって、電子フォーマットに変換をしたりして、皆さんの周知をするということで、その解決に向けたような行動を取ったり、そして政府も動かしているということになると思います。この学者が開発したデジタルプラットフォームがナイジェリアの医療制度に採用されて、ナイジェリアの政府との連携で全国的に広がっているという報告されています。

ナイジェリアの死亡を届け出の対象、ナイジェリアの妊産婦の死亡数を、届け出ることによって、政府がその情報を利用して、政府が対応するための職員をしたり、予算の確保をしたり、国家計画での健康課題に取り組んでいるということです。ナイジェリアの 3 つの州と連邦と地域で理想的な医療制度を実現させて、さらにアフリカの他の地域にもこれが再現されて、ナイジェリアがモデルになっているという風に聞いています。

こうしてナイジェリアとドイツの協力、そして各地区のロータリアンの活動が大きな成果を上げているということになります。こうして 30 年の間に素晴らしい成果を上げたのは、ナイジェリアのルファデジュさんと、ドイツのジンサーさんとの出会いから始まったということで、母の健康を守るための活動は、それからロータリーの資金援助、それから政府が動かした。政府まで動かしたと国全体の取り組み、願いとなって大きな成果を上げているということでございますが、子供、タリアの交流から命を守る活動へと推進をしたという中、無限の力というかね、ロータリアンって素晴らしいなって、それによって、政府もね、同じようにその活動に応援をしているというような報告でございます。そこでいくつかロータリーのとの中で活動はナイジェリアとドイツだけでなく、色々な日本のある方たちが活動をしているという報告ですけど、これは2023年の「ロータリーの友」に出ていたのですけど、「ロシアの健康の取り組み」ということで、使わないおむつと地域の課題がマッチングで、日本の高知市の東ロータリークラブ、西森弥生さんの文章なんですけれども、「高知オムツバンク」とは、子どものオムツ離れによって余った未開封の紙おむつを地元の子育て支援センターである高知みそのベビーホールに寄付したというロータリアンの経験から発案されたシステムで、この自分のうちに眠っていたオムツを乳児園に提供したというお話ですが、そうじゃなくて、もっともっと子育て支援策の家庭にも配ってほしいというような声があって、地区補助金を利用して高知のおむつバンクを立ち上げて、各家庭にも、オムツが買えない人たちの家庭にも送っているということでございます。

家庭センターの相談支援員が家庭を訪問する際に手土産としてオムツを持参することで、普段は支援員の訪問を拒否したり警戒したりする人でも、オムツなら受け取ってもらえて、訪問がしやすくなるというので、家庭で困ったことはないかと声をかけながら、家庭支援センターの相談員が訪問していることにもなっています。

それから、ユニチャーム株式会社、高知東ロータリークラブの高知オムツバンクの取り組みを知って、担当者の方と話をし、今後の子育て支援のいけこう意見交換などをお願いしたいという企業に参加しているという話が載っております。

それから自分の体を知ることから、大阪西南ロータリークラブでは、これまで生理の貧困への取り組みや、国内外の女性の健康と社会進出への支援を続けています。フィリピンの女の子に月経カップを届け、トイレを設置したりするプロジェクトも組んでいます。整備用品がまだまだ東南アジアの女性たちには、まだ不十分なものがあるかと思っています。私もバングラディッシュに偶然行くことになりまして、向こうでパン屋さんを開きたいという方が一緒に行かないと声をかけられて、どなたかにお世話になるからお土産持っていきたいと言ったら、生理用品を持ってくださいと言われたこともあって、5 年ほど前だったので、ちょっと大量に買うのは恥ずかしかったのですけど、大量に買ってトランクに詰め込んで持って行きましたら本当に喜ばれました。日本の生理用品は最高の製品だそうで、喜ばれました。反対に日本の生理の貧困にも取り組んでいるロータリークラブもあります。今ね。これから教師になろうという人たちに貧困の子どもたちの貧困実情を訴えて、まず先生になる前に知ってもらいたいという教育をしているとなっていましたけれども、今、日本の中でもそうした貧困のために生理用品が買えない子ども達もたくさんいるというようなことも報じられておりますので、他人事ではないなという風に思います。今、小学校とかに行くと、生理用品はトイレに置いてあります。草加市役所にも置いてあります。あれは多分突然で困ったら使ってくださいという意味で草加市の本庁舎の心遣いという風に思いますけれども、ちゃんとした生理用品を使っていないお子さんも増えているということでございます。「月経カップ」って皆さんご存知ないかも！私も知らなかったのです。あとでネットに出ておりますので、奥様と一緒に見ていただければと思います。私がここで詳細に説明すると変な話になってしまいます。どんどん生理用品も新しい製品が出来上がってきまして、最高の今製品ではないかという風に思います。特にスポーツ関係の選手たちには、本当に助かる製品で、今陸上の大会も開かれておりますけれども、もうぴちっとしたものをパンツ履かなくちゃならないような方たちにとっては素晴らしい最高の製品だと思いますので、ぜひ奥様と勉強していただきたいという風に思います。

これは「ロータリーの友」2023年7月号に掲載されて、ちょうど「旬のいちごを口いっぱい」って、草加松原さんの活動で子どもたちといちご狩りをしたニュースが載っております。

これは今年7月最新版でございまして、こちらも「月経のタブーを超えて、女性の健康と表面を守るために」、世界には月経を理由に教育や仕事の機会が奪われている女性がいます。この見過ごされがちな現実に向き合い、インドのインターアクターたちは手作りの生理用品を地域に届けています。平塚湘南RCと平塚北RCは、同期の女性会長がタッグを組んで、タンザニアで貧困に苦しむ女性たちのために生理用品工場を設立して、ナプキンを無料配布して雇用も創出する日本人女性の活動を支援しています。

素晴らしいですね。ということで載っていました。ナプキンを作っているところも載っております、2018年にプロジェクトが始まって以来、インターアクターたちは約3万枚の生理用品を作り、贈呈しているわけです。

それから、タンザニアの少女達に希望を届ける、タンザニアにおける貧困層の少女やシングルマザーが直面する過酷な状況を知って支援への強い思いが芽生えたという平塚湘南RCの関口直美さんの文章でございますが、3月10日～16日、ロータリアン5人とその家族 2 人で現地を訪問して、56の小中学校に通う女性、女子 1 万人を対象に生理の仕組みや性教育を含む保健授業を実施、タンザニアの貧困層の少女たちは生理時に布や紙を使用しており、不衛生で健康への悪影響が懸念されます。ということで、まだまだ生理用品がきちっとしたものは使われてない現実がありました。

それから、これは「バットマン、5 億人の女性を救った男」って、これは実話を映画にしたものだそうで、5億人の女性を救った男DVDが発売されているようなので、これ勉強材料になるのではないかなという風に思います。母子の健康の活動が載っておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

それでは最後に今日はぜひ皆さんにお伝えしたこと、草加市子育て支援という話になりますけれども、ぜひお届けしたいと思って持ってきました。

この資料データは2021年のものですが、もっと前から日本の子供たちの状況がこういうことなんだというデータのニュースでございますので、ゆっくりご覧いただければと思います。

子どもの貧困、今使われておりまして、松原RCさんも子ども食堂を応援してらっしゃると思うのですが、私も新里

地区で立ち上げまして1年ぐらいになるのですが、今150人分作っています。

子ども達は無料で、大人は300円頂戴するのですが、貧困家庭なのと思うような家族もいらしていますが、区別とか差別をしないでどなたでもお迎えするという形にしています。それから、登校拒否をしているお子さん達ができるだけ来てもらえるように、学校には行かないけどこの食堂には来るよっていうようなことを考えておりまして、スクールカウンセラーの友達がいって、学校の校長先生と連絡を取って、あまり侵害しないよう、また、その子が来ても自然に食堂に来た皆さんと一緒にご飯が食べられるようにと思って席を用意して、何人かいらっやっております。

で申し込み制にして電話で申し込んでいただくのですが、午前中でいっぱいになります。

なので、その子たちには特別のルートで招きをしています。それから、登校拒否をしている生徒さんたちが大変増えておりまして、学校に行きたくない、新里文化センターでやっているものですから、公民館に遊びに来るのです。なので公民館に遊びに来るのなら食事においでと言っています。ただ、学校に行きたくない子どもさん達なので、学校に行っている子どもさん達と一緒に食べたくないっていうので、また別室を用意してご飯食べていただいています。その時は民生委員さんやお母さんも一緒に来ていただいて、一緒にご飯食べていただいて、できるだけそういう人たちの支援をするっていうことも合わせてやりたいなという風に思っています。いつも150人分を作るのは大変ですが、ご近所の農家の方たちの協力もあって、お金も寄付もたくさん集まって、そういったお金とか材料に困らずに有名になってきています。今、草加には23か24の子ども食堂があるのです。保育園でも始まりまして、社会福祉法人の保育園が始めて、近所の方たちに来ていただいているのだそうですが、昔のように大勢で家族で3世代も4世代も同居しているっていう状態じゃなくて、核家族の中で孤立化しているお母さんたちが凄く喜んで、幼稚園、保育園には行っていない、まだ待機児なのだけど、食堂には来るっていうお母さんも増えて、近所の人たちと連携も取れて、とってもいい雰囲気です。食事ができるっていう、30食ぐらい作っているんですけど、そういう保育園も増えてまいりました。

子ども食堂が増えることが、良いのか悪いのかわかりませんが、でも、大勢で食事をする場があるっていうことはとてもいいだなと思って、私はもっと高齢者の方たちにも来てもらいたいと思ってお声をかけるのですが、1人2人見えても、なんか孤独でお気の毒で、悪いなと思って一緒に食べたりしているのですが、でも、1人2人と増えていくといいなという風に思っています。

それから、草加市の子育て支援ということでレジュメには書かせていただいたのですが、今、草加市も日本も子供たちがこういう問題を抱えているっていうことを皆さんにさせていただきたいなという風に思います。

それから、フードバンクのニュースもここに載っていますが、これは平成29年ニュースですが、このくらいからフードバンクは始められています。お家でいらなくなった食料品を何の手続きもいらないです、どこの誰かって聞かない。欲しかったら持って行ってくださいということで、集まったものを取りに来ていただくという制度ですけど、今、草加市内は各公民館でもやっています。どんどん場所が増えて、色々な団体の人たちも公民館を利用したりコミセンを利用したりして、フードバンクを社会福祉協会もやっていますし、普及されつつあります。企業の方にも参加していただいて、賞味期限がギリギリだっていうような商品を出していただくのですが、喜んで食べていただいて、もったいなく皆さん持っていたいただいています。

それから、今すごく社会で無差別殺人みたいなのが増えていますが、この皆さんさんにした事業、児童・生徒の暴力がすごく増えていて、すぐ切れるっていうお子さんが増えているのだそうです。それから、会話があまりできなくて、単語、超むずいとか超何とかって、本当に単語で会話を交わすっていう子ども達が増えているっていう風にも感じられています。今の無差別殺人と繋げてはいけませんが、そういうような心配も教育現場であるのではないかなと思います。普通担任は1人ですが、今2人、副担任がついている学級もあります。

で発達障害のお子さんたちも増えておりまして、発達障害、個性的ですが数学は素晴らしい、算数はできる、でも人と会話ができないとか、それから国語的な理解ができないという、もう本当に、なんていうのですか、特徴のあるお子さんが増えているのと、それから、じっとしていない、飽きてしまうようなお子さんもたくさん出てきて、副担任が必要という学級も今学校の中で増えています、なんかね。

それから、この生徒の、子どもたちの困窮ということでは、小学校も中学校も高校も増えておりまして、今プライバシーの侵害と、家庭訪問をすごく嫌がりますけれども、子どもの状況を見ていて、これは絶対お父さん、お母さんに会わなきゃいけないなっていうようなこともたくさんあるようなので、そのお家に訪問して、家の中に入れてくれればいけど入れてくれない。大変苦労しているということですね。

それからあとヤングケアラーって皆さん聞いたことございますか。最近、埼玉県でも力を入れるようになりまして、副本も作っているのですが、3年ぐらい前の調査で、高校生でクラスに2人が出てきました。生まれながら、そのお母さんのも会話をしているお子さんもいるし、自分自身がやのキャラだと思ってない、もう生まれた時からお母さんの面倒見というお子さんもいて、当たり前前の生活という風に捉えているっていうことと、ここに1つの例で、これは東京都のもなのですが、近くで相談員をやっている、この人は元市会議員の井出さんという草加の方ですけど、この方自身もやるヤングケアラーだった、その体験談を講演してらっしゃり、東京都の相談員になっているんです。記事をいただいてまいりましたけれども、草加市も立ち上げて、この指にとまれているので時々開いて来ていただいたのですが、なかなか集まる、そういうところに来るっていう気持ちにならない。

それから、この1番が言っていたのですが、中学生、高校生のように、親の面倒を見るために部活動もできないし、勉強もできないし、早く帰らなくてはいけない、介護しなければいけない、食事の支度もしなくてはいけない、勉強の時間がない、自分の将来どうなると進学期になるとそういう心配が出てくるようになります。井出さん自身のお父様のことに触れて、高校時代、介護の生活、そしてこの人はすごい頭がいいから大学に受かっていらっやいますけれども、そういう優秀な人はいいのですが、そこから落ちたって自分の将来が見えなくなっていく負担も増

本の中の子どもたちもそういうような問題を抱えているということ、それが母子の健康にも繋がっていくのではないかと思います。

出産費用は各自治体差し上げています。2、3年前までは42万ぐらいだったが、最近50万円になりました。保育園・幼稚園も3歳以上は無料化になりました。草加市には公設公営の保育園が19、社会福祉法人の保育園もあるのですが、まだまだ待機児童が何百人かいます。

そういう人たちのために、お母さんがどうしても出かせなくてはいけない、病気という時などは、近くの保育園に預けていただくように、一時預かりも行われています。それから、昔は病気になったり、熱を出したりしたら、幼稚園に行かれない、保育園に行かせられないというような状況でしたけど、今は病児保育なども保育園でやっていただいております。お預かりするというのも行われています。

それから、データを見たら365日で360日預けているご家庭もありました。一時預かりとか、日曜祭日預かる保育園もございまして、そちらに預けてということでお話を聞いたら、同じ家庭の人が360日預ける人もいますよとおっしゃっていました。ただ、保育園の先生方は、あまりお子さんの好きじゃない親御さんと一緒にいるより、私達がお子さんと一緒にいて見てあげる方が幸せだったらいいですよと言っていました。そんなようなこともあります。今、私が凄く心配しているのは、民設の保育園と公設の格差ができています。民設民営には英語教育や体育、音楽などの教育をして昼寝をさせていない。公設の場合は昔からですが昼寝の時間がある。いろんな習い事に時間を割いて、お家をお返しするということに行われています。あと延長保育も行われておりますので、5時に終わって6時に草加に帰ってくるのは大変難しいということで、延長保育も今7時ぐらいまではお預かりできるようになっています。そういう意味では、民設民営が出来たお陰で色々なことが草加の教育にも変わってきていると思うのですが、この面接に民設民営で行われている英語とか音楽とか体育の教育、あと畑にジャガイモを植えたり、サツマイモを植えたりという体験も、民設民営はやっているのですが、公設公営は場所もないし、そのような活動や運営がされてないので、ここでも格差が起きてしまう！やはり「三つ子の魂百まで」と子どもの時代に自然に触れたり、種を埋めて葉っぱが出てきて、花が咲いて、実があって、それを収穫するっていう楽しみを、小さい時に味わうことは凄く大きなことだと思うので、そういうことが現実に見えて行われていますので、格差ができてしまうのは、今危惧しているところですけど、子どもは学校に行けば、学校で体験して成長していくという風には思いますけれども、そういうような状況も草加市にはあります。

次は病院のことを少しお話ししたいと思います。子育て支援、病院の費用です。今は0歳から18歳まで、通院費も入院費もかかりません。草加市立病院の話を最後にさせていただきます。今、私立病院では産婦人科が、産科はありません。婦人科に2人先生が常駐していると思いますけれども、産科が草加市立病院にはないのです。市内には2件産科病院があります。婦人科専門の産婦人科が3件あるのですけれども、子供の産めない町になってきたっていう感じあります。草加市の市立病院の産科が再開してくれると1番いいのですけれどもね！田中市長さんの時には5人体制で、草加市立病院が自然分娩で有名だったのです。促進剤を打たずに自然分娩で、真夜中だろうと朝だろうと先生が対応してくれたのですけれども、女性の先生が3人だったために、2人がご懐妊をなさいまして、3人になったら自然分娩が受け付けられないということで閉じてしまいました。一番大変だったのは、市立病院が今のところに移った段階の頃、木下市長さんの頃だと思いますが、婦人科も無くなったような状況で、木下さんが発案して、婦人科の先生は年間給料を普通の倍にしようということで、特別なお給料を用意して産婦人科の先生を呼ぼうとしたのですけど、なかなか応募がなくて産婦人科の再開も難しくおりました。浅井市長さんになって、大学病院と交渉して、ようやく2人体制になり、産科の先生も回しますという話ができた時に、選挙に落ちてなくなりそのままになりました。今の市立病院の管理者が一生懸命その後を継いで交渉しているそうですが、なかなか進まず、草加市立病院に産科がない状況になっています。早く、再会をしていただいて草加市に子供たちがいっぱい増えることを望んでいますけど、全国の出生率1.42ですけど、草加市は1.27です。近隣の産婦人科の状況を見てみますと、越谷が産婦人科4軒あります。川口が7軒、吉川が1軒、三郷2軒、八潮は婦人科だらけですけど、3軒ということで、周りも昔よりは少なくなりましたけれども、こんな状態で少子化時代を迎えているのも、やはり、もうすこし産婦人科の医師が増えて、子どもが増えるといいなと思います。

最後にこの表をちょっとご覧いただきたいと思います。これは上が日本の変化です。ちょっと色が薄いのでわかりませんが、1番上がピンクで65歳以上、真ん中が15歳から63歳、下が15歳未満となっています。次がアメリカです。アメリカと日本を比較したら、どちらの国が繁栄すると思います！

これだけ日本人って少子化です。下の折れ線グラフが赤いのは日本です。これが15歳から64歳まで、若い人が残っています。高齢者ばかり増えるという折れ線グラフになっていて、少子高齢化に超がつくという日本の状況でございます。どちらの株を買えますかというアメリカの繁栄しそうですね！これは本当に超少子高齢化の凄い問題だと思います。

いろんな世界と同じ、ドイツの取り組みを最初の方でさせていただきましたけれども、世界中の日本ロータリアンもこうした活動をして支援をしているというような状況ですが、この少子高齢化だけは、1人の力ではなかなかうまく解決できませんけれども、ぜひ、皆さんのお子さんのお孫さんには、お子さんを沢山お産みいただきますようお願いしていただきたいなという風に思います。お時間となりました。ご清聴ありがとうございます。



草加松原ロータリークラブ杯バレーボール大会について 会田小弥太社会奉仕委員長

皆さんこんばんは、社会法奉仕委員会からご案内があります。兼ねてから支援をしておりますバレーボール大会が8月24日の日曜日に開催されます。場所は昔の名前で言うと記念体育館記念館、今はエネクルアリーナです。開会式が9時からということでございます。いつも15分くらい前に会場に皆さんお集まりいただいていると思いますので、どうかご協力をよろしくお願いいたします。開催日が近くなりましたらまたご案内いたします。



第1回木村・安田杯ゴルフコンペについて

二階堂祐司親睦委員長

皆さんこんばんは、親睦委員会からのお知らせです。9月9日に第1回木村・安田杯ゴルフコンペを開催いたします。場所は千葉カントリー川間コースです。4組取りましたので、皆さんぜひ参加していただければと思っております。ご案内は改めて送りますので、ご参加をよろしくお願いいたします。



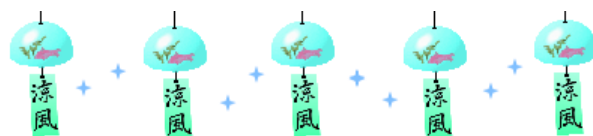
命水会について

牛山信康会員



皆様こんばんは、命水会のご案内です。今週金曜日、8月1日18:00～かやりますので、ご参加の方は必ずおいでいただきたいと思っております。予算の余剰金が全然ないので、欠席すると赤字になってしまいますので、欠席した場合は後日集金させていただきますので、必ず出席してくださるようお願いいたします。来栖さん聞こえていますか！宜しく願い致します。

7月29日 ニコニコBOX			
金額	20,000 円	累計	119,000 円
7月29日 出席報告			
会員総数	36	出席	16
出席免除	2	MU	2
出席適用	34	出席率	52.94
ZOOM参加		来栖勝幸会員	



今後のプログラム

8/12 休会(お盆)
8/19 暑気払い例会 吉川 福寿家
8/26 会員増強維持部門ミーティング レセプション

齋藤 幸子様 本日はお世話になります。お招きありがとうございます。
木村 博行会長 齋藤幸子さん、卓話ありがとうございます。いつ聴いても素晴らしいお話、感服致します。越谷の観明高校、甲子園出場おめでとうございます。応援しています。
安田 洋介幹事 本日は齋藤幸子様の卓話楽しみにして参りました。宜しくお願い致します。
会田小弥太会員 齋藤幸子様卓話楽しみにしております。
坂田 一人会員 齋藤幸子様本日は卓話ありがとうございます。
牛山 信康会員 毎日暑いです。町会活動の花いっぱい運動でフラワーポットに日々草を植えて、きれいな花が咲いています。ところがこの暑さ水をあげないとすぐにしおれてしまい花が可哀そうです。
加藤 芳隆会員 齋藤幸子様今日は忙しい中卓話をしていただきありがとうございます。
北畠 文康会員 毎日酷暑、暑さが続いていますのでお身体ご自愛ください。
鈴木 努会員 齋藤幸子様本日は卓話ありがとうございます。
田中 和郎会員 今日には齋藤幸子様の卓話ありがとうございます。大変参考になりました。
富永 悟会員 暑くて家の外へ出られませんか一雨ほしい毎日です。齋藤幸子様卓話ありがとうございます。
二階堂祐司会員 暑すぎます。皆様体調に注意しましょう。
長谷部健一会員 齋藤幸子様卓話楽しみです。
松田 龍美会員 本日は齋藤幸子さんの卓話を楽しみに来ました。宜しくお願い致します。
山崎 秀美会員 お世話になります。齋藤幸子様卓話楽しみにしております。
渡辺 直之会員 齋藤幸子様卓話楽しみです。暑くて大変です。
齋藤幸子様、本日は卓話をありがとうございます。